

## 2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/集中 : /Intensive

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10119903			
科目番号 /Course Number	10160130			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	発達心理学 : Development Psychology			
担当教員名 / Instructor(s)	/(上條 史絵) : KAMIJO Shie			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
			○	
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	担当教員は、地域向け心理教育相談、精神科クリニック、大学附属病院心理外来、大学学生相談等の実務経験があります。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	<p>人間の発達の概要と、各時期に獲得すべき能力・課題・問題について説明する。身体的な成長だけではなく、人が知性・理性を兼ね備えた人間として成熟するプロセスの基本的知識を説明する。</p> <p>各時期に期待される成長とつまづき、未熟によって起こる問題を、発達課題と関係づける。</p> <p>ジェンダーや児童虐待、不登校、不応、発達障害などの現代社会の心理的問題についても、発達課題と関係づけ、指摘する。</p> <p>これらを通して、自分なりの視点や意見をもち、議論する。</p> <p>視聴覚資料やデータを参照したり、グループワークや学生同士</p>
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	<p>人生の各時期における発達課題や問題について、説明できる。</p> <p>感覚・言語・運動・認知などの各種基本的能力について、説明できる。</p> <p>社会性や感情の発達、コミュニケーション能力など、他者と関係をもちながら生きていくための能力の発達について、説明できる。</p> <p>個人ワークやグループ討議を通して、自身の体験・考えを説明できる。</p> <p>個人ワークやグループ討議を通して、自己理解・他者理解が深まった点について説明できる。</p>

英	
---	--

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第1回 オリエンテーション・発達心理学とは	事前：シラバスを通読する。発達について知りたいことをまとめておく。 事後：理解した内容と疑問点を整理しておく。
	英		
2	日	第2回 胎児期, 乳児期の発達	事前：子どもの発達について、興味のあることを調べる。 事後：講義メモを整理し、興味をもったテーマについて具体的な内容を調べる。
	英		
3	日	第3回 乳児期・幼児期① 愛着の発達	事前：第2回目の講義内容で、分からなかった用語を調べる。 事後：講義メモを整理し、興味をもったテーマについて具体的な内容を調べる。
	英		
4	日	第4回 乳児期・幼児期② 運動・認知の発達	事前：第3回目の講義内容で、分からなかった用語を調べる。 事後：講義メモを整理し、興味をもったテーマについて具体的な内容を調べる。
	英		
5	日	第5回 乳児期・幼児期③ 情緒と社会性の発達	事前：第3回目の講義内容で、分からなかった用語を調べる。 事後：子どもの頃の特徴的な思い出をまとめる。
	英		
6	日	第6回 非定型発達と発達障害	事前：発達障害の定義について調べる。 事後：講義メモを整理し、興味をもったテーマについて具体的な内容を調べる。
	英		
7	日	第7回 子どもへの支援と援助	事前：現代社会の子どもをめぐる問題を1つ調べる。  事後：講義メモを整理し、興味をもったテーマについて具体的な内容を調べる。
	英		
8	日	第8回 児童期の発達 【個人演習およびグループワークを含む】	事前：6-12歳時の特徴的な思い出をまとめる。 事後：講義メモを整理し、興味をもったテーマについて具体的な内容を調べる。
	英		
9	日	第9回 思春期・青年期① アイデンティティ 【個人演習およびグループワークを含む】	事前：13-18歳時の特徴的な思い出をまとめる。 事後：ワークの体験を振り返り、実践出来たことと出来なかったことを整理する。
	英		
10	日	第10回 思春期・青年期② 対人関係・社会とのかかわり	事前：大学生の人間関係の特徴について、自身の考えをまとめる。 事後：講義メモを整理し、興味をもったテーマについて具体的な内容を調べる。
	英		
11	日	第11回 思春期・青年期に生じる課題	事前：思春期・青年期に生じる課題について調べる。 事後：講義メモを整理し、興味をもったテーマについて具体的な内容を調べる。
	英		

	英		
12	日	第 12 回 成人期の発達① 自立と就労 【個人演習およびグループワークを含む】	事前：「自立」と聞いて思い浮かぶことをまとめる。 事後：講義での体験を振り返り、自己理解・他者理解が深まった点を整理する。
	英		
13	日	第 13 回 成人期の発達② パートナーシップ・家族	事前：成人期の発達について、興味のあることを調べる。 事後：現代社会の家族をめぐる問題を 1 つ調べる。
	英		
14	日	第 14 回 壮年期・老年期の発達	事前：壮年期・老年期の発達について、興味のあることを調べる。 事後：講義メモを整理し、興味をもったテーマについて具体的な内容を調べる。
	英		
15	日	第 15 回 まとめ	事前：講義全体のポイントをまとめる。 事後：試験の予習をする。
	英		

## 履修条件 Prerequisite(s)

日	
英	

## 授業時間外学習（予習・復習等）

## Required study time, Preparation and review

日	各回の事前学習・事後学習については、上記授業計画の内容欄を参照のこと。
英	

## 教科書／参考書 Textbooks/Reference Books

日	<p>【教科書】 使用しない。適宜スライド資料・レジュメを配付する。</p> <p>【参考書】 山下洋 2019「アタッチメントの精神医学 愛着障害と母子臨床」日本評論社ほか、適宜紹介する。</p>
英	

## 成績評価の方法及び基準 Grading Policy

日	<p>小レポート 30%，試験 70%の成績を総合して評価する。 評価基準は合計 60 %として、この値以上を単位認定とする。</p> <p>試験：到達目標 1・2 について、記述および正誤、多肢選択により到達度を評価する。 小レポート：試験と同時に実施する。到達目標 4・5 に関し、評価基準は、自身の考えの明確さ、省察の幅、授業内容からの発展度等から判断する。</p> <p>※試験の受験資格は各大学・学科の規定に従う。規定がない場合には、講義時間の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。</p>
英	

## 留意事項等 Point to consider

--	--

日	<p><b>【オフィスアワー】</b> 授業前後の時間に対応する。 ほか、質問等はポータル上もしくは講義時に案内する講師メールアドレスにて受付・対応する。</p> <p><b>【学生へメッセージ】</b> 体験型の学修やグループ討議の時間があります。積極的な参加と発言、他者の意見を尊重する態度を求めます。 グループ構成上、期間中に多くの欠席予定がある人は、履修を控えてください。</p>
英	